

DP-100-D, 100F-D

RED MAN™
ULTRA-HIGH PERFORMANCE SOLENOID

パイロット式	直動式	ピストン	ダイヤフラム
通電開	通電閉	ACコイル	DCコイル
ステンレス	100V・200V兼用	防爆形	JWWA
弁リーク0			

■ 特 長

1. 直流電源のピストンタイプの電磁弁です。
2. 水平・垂直取付け自由です。



DP-100-D



DP-100F-D

ステンレス製	DC(直流)電源
	通電時開形
ねじ込み形	DP-100-D
フランジ形	DP-100F-D

■ 仕 様

型 式	DCコイル仕様	DP-100-D	DP-100F-D
呼 び 径		10~50A	15~65A
構 造		パイロット式ピストンタイプ	
適 用 流 体		蒸気・冷温水・空気・窒素ガス・炭酸ガス(乾燥状態)・アルゴンガス・A重油・B重油・灯油・軽油(20cSt以下)	
適 用 圧 力		0~1.0MPa(真空使用不可)	
最 低 作 動 差 圧		0MPa(コイル横向きの場合は差圧0.03MPa以上必要です。)	
弁 座 漏 れ 量		50mL/min(標準状態)(空気圧0.6MPa時)	
使 用 温 度		5~180℃(凍結不可)	
周 囲 温 度		50℃以下(凍結不可)	
取 付 姿 勢		水平配管および垂直配管(コイル上向きに対して90°以内)	
材 質	弁 箱	ステンレス鋼	
	弁 体	ステンレス鋼	
	デ ィ ス ク	ふっ素樹脂(PTFE)	
接 続		JIS Rc	JIS 10K FFフランジ

■ コイル仕様《DC(直流)コイル》

定 格 電 圧	DC24V	
呼 び 径	10~25A	32~65A
定 格 電 流	1.34A	1.14A
電 圧 変 動 許 容 範 囲	定格電圧-5%~+10%	
絶 縁 種 別	H種	
保 護 構 造	耐じん・防まつ形	
保 護 等 級	IP64(JIS C0920)	
絶 縁 抵 抗	50MΩ以上/500Vメガー	
耐 電 圧 試 験	1500V/min	

●端子箱付も製作いたします。

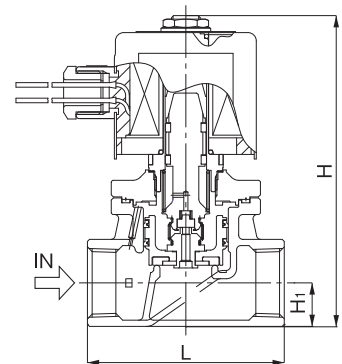
■ 寸法及び質量

●DP-100-D

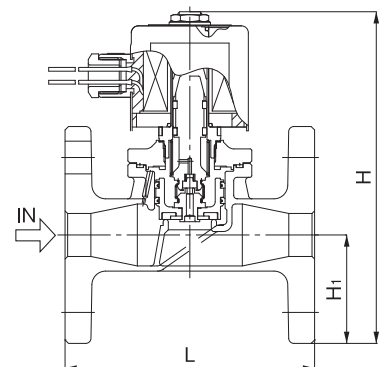
呼び径	d	L	H ₁	H	質量(kg)
10A	Rc $\frac{3}{8}$	70	14.5	143	2.2
15A	Rc $\frac{1}{2}$	70	14.5	143	2.2
20A	Rc $\frac{3}{4}$	80	17.5	147	2.3
25A	Rc 1	95	21.0	151	2.7
32A	Rc1 $\frac{1}{4}$	110	26.0	194	4.3
40A	Rc1 $\frac{1}{2}$	120	29.5	200	5.2
50A	Rc 2	140	36.5	209	6.8

(mm)

DP-100-D



DP-100F-D

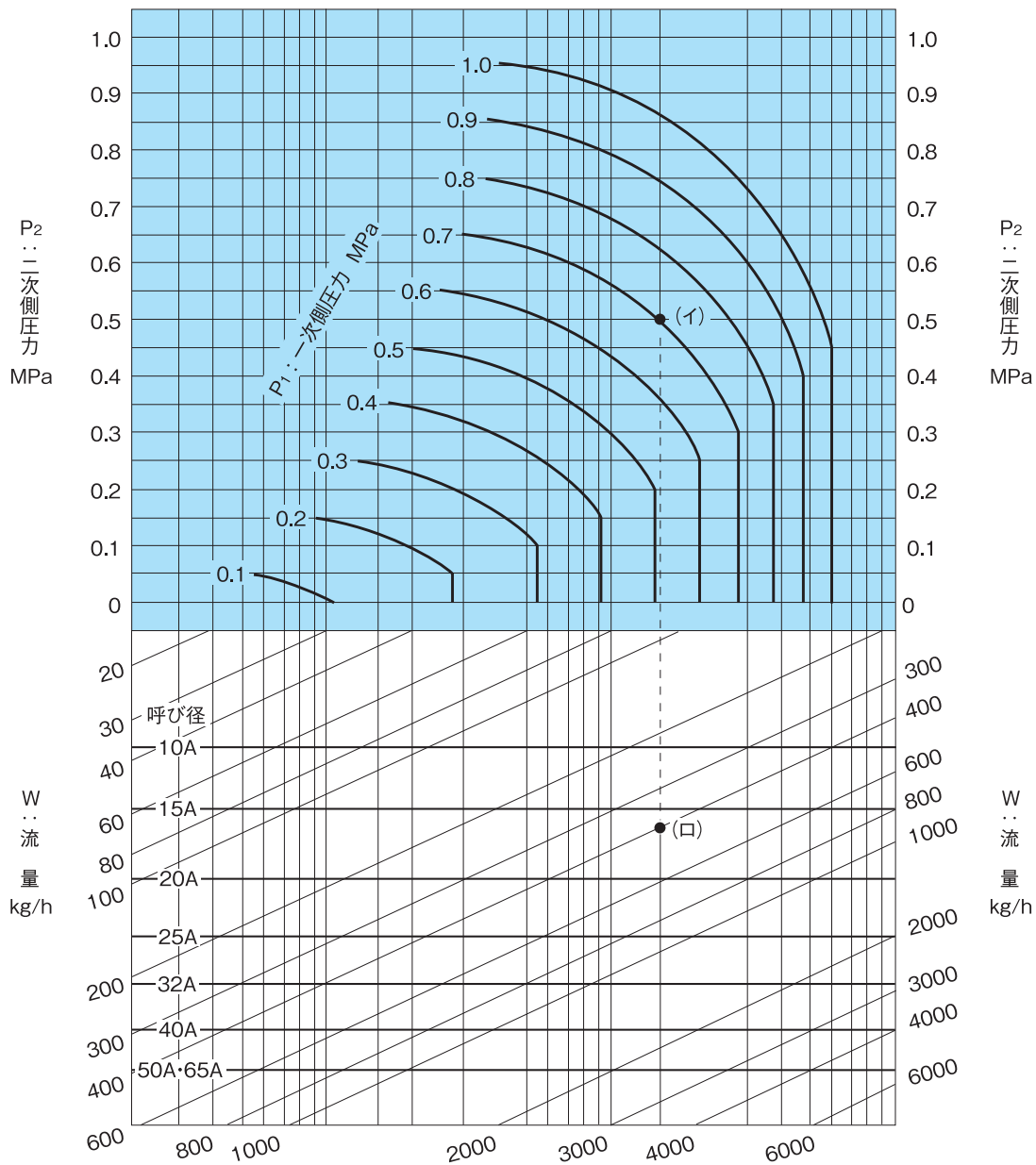


●DP-100F-D

呼び径	d	L	H ₁	H	質量(kg)
15A	15	120	47.5	177	3.5
20A	20	130	50.0	180	4.0
25A	25	145	62.5	193	5.3
32A	32	160	67.5	235	8.1
40A	40	170	70.0	241	9.2
50A	50	195	77.5	250	11.7
65A	50	198	87.5	260	13.5

(mm)

■ 呼び径選定図表(蒸気用)

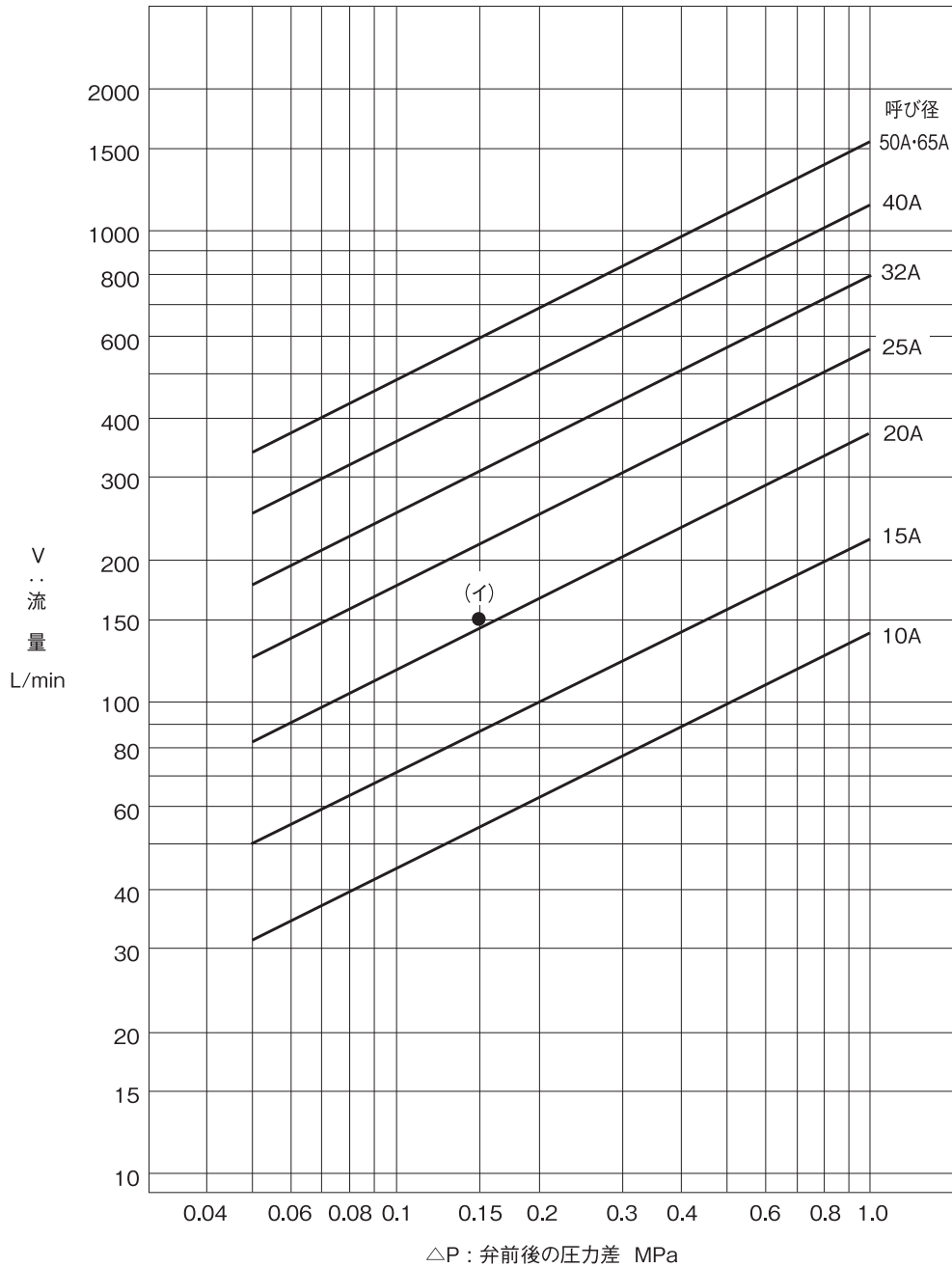


図表の見方

一次側圧力(P_1)0.7MPa、二次側圧力(P_2)0.5MPa、蒸気(飽和蒸気)の流量(W)400kg/hに対する呼び径の選定方法は、 $P_1=0.7$ MPa、 $P_2=0.5$ MPaの交点(イ)を求め(イ)より垂直に下がり、 $W=400$ kg/hとの交点(ロ)を求めます。交点(ロ)は呼び径15Aと20Aの間にあり、大きい方の20Aが求める呼び径になります。

※Cv値及び計算式はP.11-9を参照ください。

■ 呼び径選定図表(水用)

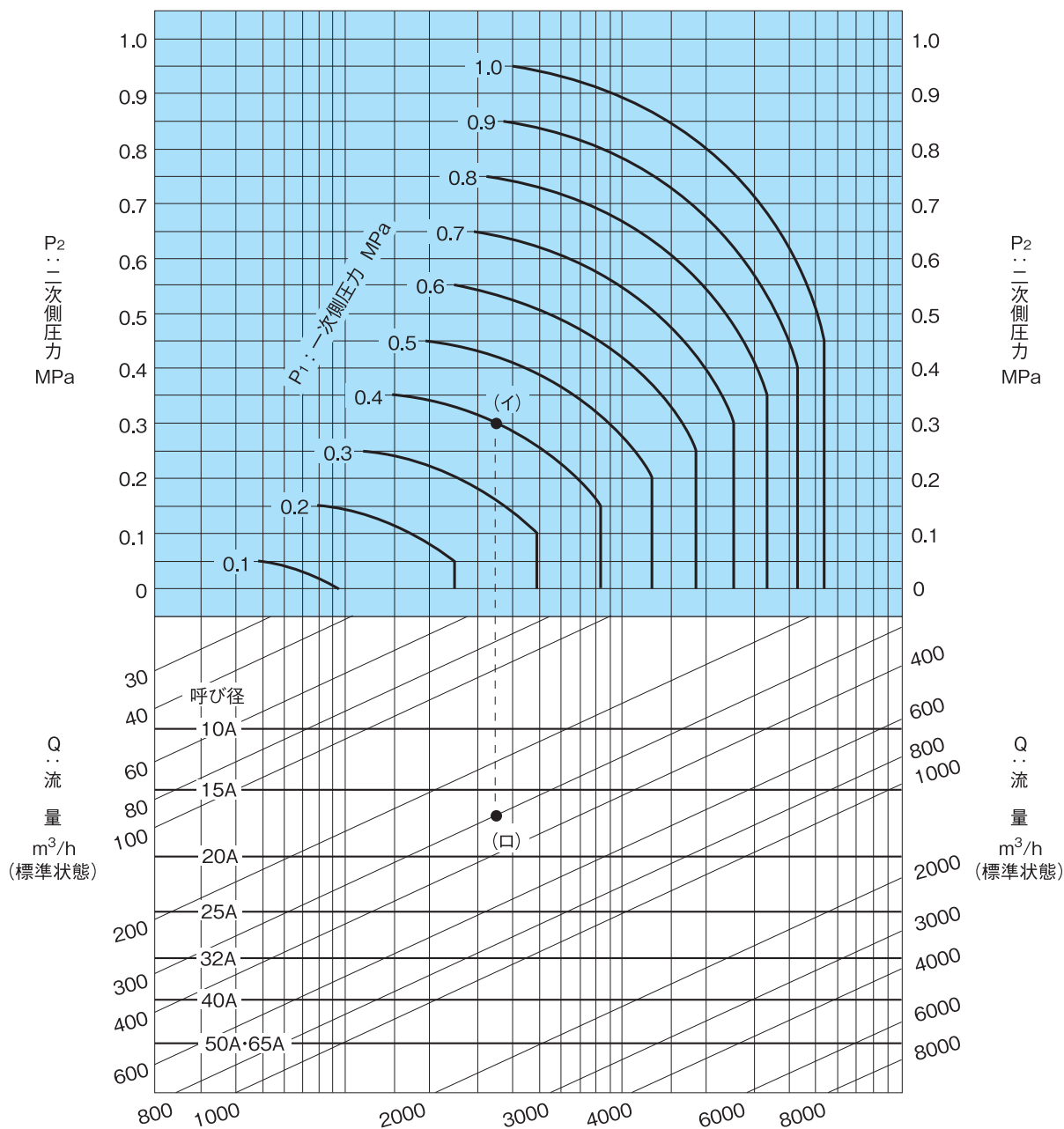


図表の見方

一次側圧力(P₁)0.5MPa、二次側圧力(P₂)0.35MPa、流量(V)150L/minに対する呼び径の選定方法は、弁前後の圧力差〔ΔP=0.5-0.35=0.15MPa〕とV=150L/minとの交点(イ)を求めます。交点(イ)は呼び径20Aと25Aの間にあり、大きい方の25Aが求める呼び径になります。

※Cv値及び計算式はP.11-9を参照ください。

■ 呼び径選定図表(空気用)



図表の見方

一次側圧力(P_1)0.4MPa、二次側圧力(P_2)0.3MPa、空気(20°C)の流量(Q)300 m^3/h (標準状態)に対する呼び径の選定方法は、 $P_1=0.4$ MPa、 $P_2=0.3$ MPaの交点(イ)を求め(イ)より垂直に下がり、 $Q=300m^3/h$ (標準状態)との交点(ロ)を求めます。交点(ロ)は呼び径15Aと20Aの間にあり、大きい方の20Aが求める呼び径になります。

※Cv値及び計算式はP.11-9を参照ください。